

○議長（茅沼隆文）

続いて、議案第25号 平成30年度開成町水道事業会計予算の細部説明を担当課長に求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

それでは、予算書の227ページをお開きください。

議案第25号 平成30年度開成町水道事業会計予算。

総則。第1条、平成30年度開成町の水道事業会計予算は、次に定めるところによる。

業務の予定量。第2条、業務の予定量は、次のとおりとする。

1号、給水装置個数7,749個。

2号、年間総給水量195万3,077立方メートル。

3号、一日平均給水量5,351立方メートル。

4号、主な建設改良事業費2億1,825万6,000円、増設改良費。

収益的収入及び支出。第3条、収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収入、第1款水道事業収益、2億6,366万3,000円。

第1項、営業収益、2億4,349万5,000円。

第2項、営業外収益、2,016万8,000円。

支出、第11款水道事業費用、2億6,366万3,000円。

第1項、営業費用、1億7,735万3,000円。

第2項、営業外費用、2,865万8,000円。

第3項、予備費、5,765万2,000円。

資本的収入及び支出。第4条、資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2億1,815万4,000円は、過年度分損益勘定留保資金2億408万5,000円、当年度分資本的収支調整額1,405万9,000円で補填するものとする。）

収入、第2款資本的収入、6,026万8,000円。

第1項、分担金、856万円。

第2項、負担金、170万8,000円。

第5項、企業債、5,000万円。

支出、第12款資本的支出、2億7,842万2,000円、

第2項、増設改良費、2億1,825万6,000円。

第3項、企業債償還金、5,716万6,000円。

第4項、予備費、300万円。

次のページをお開きください。

債務負担行為。第5条、債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、

次のとおりと定める。

事項、高台第一浄水場第2配水池屋根改修工事、期間、平成31年度、限度額、1,339万6,000円。

企業債。第6条、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的、配水施設整備事業。

限度額、5,000万円。

起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおりです。

一時借入金。第7条、一時借入金の限度額は2,000万円と定める。

議会の議決を経なければ流用することができない経費。第8条、次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、または、それ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

1号、職員の給与費、3,416万2,000円。

たな卸資産の購入限度額。第9条、たな卸資産の購入限度額は、1,127万4,000円と定める。

平成30年3月6日提出、開成町長、府川裕一。

それでは、別冊の開成町歳入歳出予算書説明資料、118ページ、119ページをお開きください。

歳入です。収益的収入、水道事業収益、営業収益、給水収益の水道使用料は、7749件を見込んでおります。前年度に比べ0.4%の増となります。

受託工事収益の給水工事加入金は、198件を見込んでおります。前年度に比べ13.8%増となっております。

その他の営業収益の手数料は、給水工事設計審査、開始・休止、給水工事指定申請、給水工事指定再交付、閲覧交付手数料と下水道料金徴収料の手数料を見込んでおります。

二つとばしまして、他会計負担金は、消火栓379基の管理費を計上しております。

一つとばしまして、営業外収益、長期前受金戻入益は、原価償却額のうち補助金で取得した金額の戻入益で、実際の歳入はありません。

二つとばしまして、資本的収入です。資本的収入、分担金の配水管布設分担金は、下水道工事に伴う配水管布設替え工事に係る分担金です。

負担金の他会計負担金は、消火栓更新工事に係る負担金です。

企業債は、配水施設整備事業の起債でございます。

次の120、121ページをお開きください。

収益的支出です。水道事業費用、営業費用の原水浄水配水及び給水費は、安全な水道水供給を行うため水質の検査や浄水場施設の維持管理、休日や夜間の漏水に対応するための漏水当番経費や給・配水工事の維持管理を行うものでございます。

受託工事費は、舗装復旧、緊急用工事など、給水工事等に関する費用でございます。

総係費は、テレメータによる浄水場施設の監視や現在使用しています企業会計シス

テムの保守料等でございます。

三つとばしまして、営業外費用の支払利息は47件分でございます。

二つとばしまして、予備費は5,765万2,000円です。

続きまして、資本的支出です。資本的支出、建設改良の増設改良費、配水施設整備工事費は、下水道工事に伴う配水管布設工事、耐用年数が過ぎました配水管の配水管更新工事や、水道資材置き場新設工事、あと水道施設の長寿命化のための高台第一浄水場第2配水池屋根改修工事等を行うものです。工事場所につきましては、説明資料の後ろ、資料3としまして水道工事箇所を添付してありますので、後程、ご覧いただきたいと思っております。

メータ費は、8年経過した検満メータ967個の交換工事とメータ1,159個の購入を行う費用でございます。

企業債償還金は、水道事業債41件分でございます。

予備費は、昨年と同額の300万円を計上しております。

恐れ入りますが、ここで予算書の233ページをお願いします。

平成30年度開成町水道事業予定キャッシュ・フロー計算書です。平成30年4月1日から平成31年3月31日までです。1の営業活動によるキャッシュ・フローです。

(1)当年度純利益5,133万9,239円と(2)の営業活動から得た現金預金への当年度純利益の調整、イからホまでを加えました小計1億7,685万2,962円に、受取利息及び配当金受入額、支払利息及び企業債取扱諸費の支払額を加えた営業活動から得た現金預金(純額)は、1億5,699万6,962円となります。

次に、2の投資活動によるキャッシュ・フローです。(1)の固定資産の取得による支出(建設改良費)から(6)の投資活動に伴う現金預金の調整まで、投資活動から得た現金預金(純額)は、マイナス1億9,691万9,483円となります。

次に、3の財務活動によるキャッシュ・フローです。(1)の企業債の発行と(2)の企業債の償還の合計が財務活動から得た現金預金(純額)となり、マイナス716万6,000円となります。

4の現金預金及び現金等価物増加額・減少額は、マイナス4,708万8,521円となり、5の現金預金及び現金等価物期首残高、5億8,223万5,256円を加えた6の現金預金及び現金等価物期末残高は、5億3,514万6,735円となります。

238ページをお開きください。

平成29年度開成町水道事業予定貸借対照表(税抜き)です。

平成30年3月31日現在の予定でございます。資産の部。1の固定資産は、(1)有形固定資産、イの土地からトの建設仮勘定まで、有形固定資産合計26億7,686万7,392円です。

(2)無形固定資産は、イの電話加入権が21万3,040円です。

(3)投資その他の資産は、イのリサイクル預託金9,130円です。

固定資産合計は、26億7,708万9,562円となります。

2の流動資産は(1)現金預金から(3)貯蔵品まで、流動資産合計は6億1,824万5,741円となり、資産合計は32億9,533万5,303円です。

次のページをご覧ください。負債の部です。

3の固定負債は、(1)企業債と(2)引当金、イの修繕引当金です。固定負債合計は、10億1,581万8,986円です。

4の流動負債は、(1)一時借入金から(4)引当金まで、流動負債合計は6,963万2,232円です。

5の繰延収益は、(1)長期前受金、イの国県補助金からホの受贈財産評価額まで、繰延収益合計は5億2,304万9,753円で、負債合計は16億850万971円です。

次のページをご覧ください。

資本の部です。6の資本金は、(1)自己資本金、イの固有資本金からハの出資金まで、資本金合計14億2,896万3,074円です。

7の剰余金は、(1)利益剰余金、イの建設改良積立金からハの当年度未処分利益剰余金まで、剰余金合計は2億5,787万1,258円です。

資本合計は16億8,683万4,332円です。

負債資本合計は、32億9,533万5,303円です。

次の242ページをお願いいたします。

平成30年度開成町水道事業予定貸借対照表(税抜き)です。

平成31年3月31日現在の予定です。

資産の部。1の固定資産は、(1)有形固定資産、イの土地からトの建設仮勘定まで、有形固定資産合計27億6,372万1,283円です。(2)無形固定資産は、イの電話加入権21万3,040円です。

(3)投資その他の資産は、イのリサイクル預託金9,130円です。固定資産合計は、27億6,394万3,453円です。

2の流動資産は(1)現金預金から(3)の貯蔵品まで、流動資産合計は5億5,842万7,656円となり、資産合計は33億2,237万1,109円です。

次のページをご覧ください。負債の部です。3の固定負債は、(1)の企業債と(2)の引当金、イの修繕引当金で、固定負債合計は10億567万4,354円です。

4の流動負債は、(1)一時借入金から(4)引当金まで、流動負債合計は6,592万6,023円です。

5の繰延収益は、(1)長期前受金、イの国県補助金からホの受贈財産評価額まで、繰延収益合計は5億1,259万7,161円です。負債合計は、15億8,419万7,538円です。

次のページをご覧ください。資本の部です。6の資本金は、(1)自己資本金、イの固有資本金からハの出資金まで、資本金合計は14億2,896万3,074円です。

7の剰余金は、(1)利益剰余金、イの建設改良積立金からハの当年度未処分利益剰余金まで、剰余金合計は3億921万497円です。

資本合計は17億3,817万3,571円です。

負債資本合計は、33億2,237万1,109円となります。

次の246ページをお願いいたします。

平成29年度開成町水道事業損益計算書(税抜き)見込みです。平成29年4月1日から平成30年3月31日までです。

1の営業収益は、(1)の給水収益から(3)その他の営業収益まで、2億2,348万3,335円です。

2の営業費用は、(1)の原水浄水配水及び給水費から(6)の材料売却原価まで、1億6,857万788円です。

営業利益は、5,491万2,547円となります。3の営業外収益は、(1)の受取利息及び配当金から(5)の雑収益まで、2,019万4,469円です。

4の営業外費用は、(1)支払利息と(2)の雑支出が2,155万8,631円です。したがって、営業外費用はマイナス136万4,162円となります。

5の特別損失は、計上がありません。

経常利益は5,354万8,385円となり、当年度純利益として5,354万8,385円を見込んでおります。前年度繰越利益剰余金は、3,121万2,873円です。したがって、当年度未処分利益剰余金として、8,476万1,258円の見込みとなっております。

次の248ページをお願いいたします。

開成町の水道事業会計予算作成における注記です。

1の重要な会計方針と2の予定キャッシュ・フロー計算書等の関連。

4のその他注記は、昨年と変更ありません。

3の予定貸借対照表等に関する注記は、記載のとおりです。

以上で説明を終わります。よろしくをお願いいたします。

○議長(茅沼隆文)

以上で、議案第25号 平成30年度開成町水道事業会計予算の説明を終了いたしました。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

5日目の会議は13日午前9時から行います。本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午後2時44分 散会